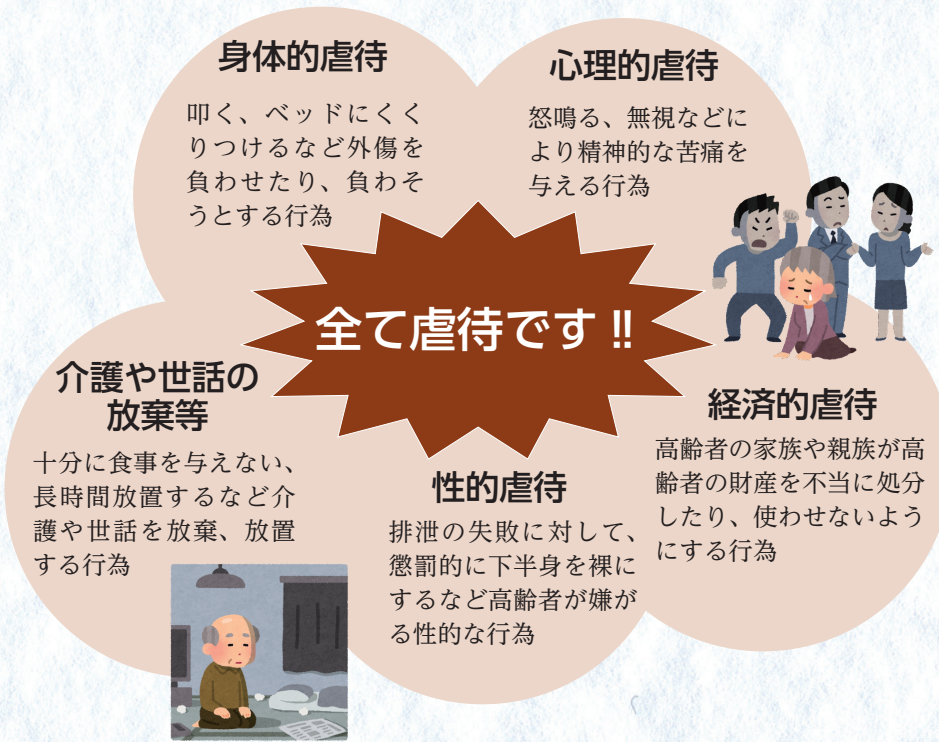


高齢者への虐待とは？



高齢者の身体や心を傷つける高齢者虐待。市内でも残念ながら、高齢者への虐待が発生しています。高齢者への虐待は、早期に発見することで深刻な事態を防止できます。虐待の種類や要因、虐待と思われる行為を見かけた際の対応などを知り、高齢者への虐待がおこらない、皆が住みよい「岩倉市」を目指しましょう。

高齢者虐待の要因

社会環境など

- ・ 家族や周囲の人の介護に対する無関心
- ・ 希薄な近隣関係、社会から孤立
- ・ 老老介護・単身介護の増加
- ・ ニーズに合わないケアマネジメント

人間関係

折り合いの悪さ、精神的依存、経済的依存

虐待者

- ・ 介護疲れ
- ・ 人格や性格
- ・ 病気や障がい
- ・ 介護に関する知識不足
- ・ 生活苦 など

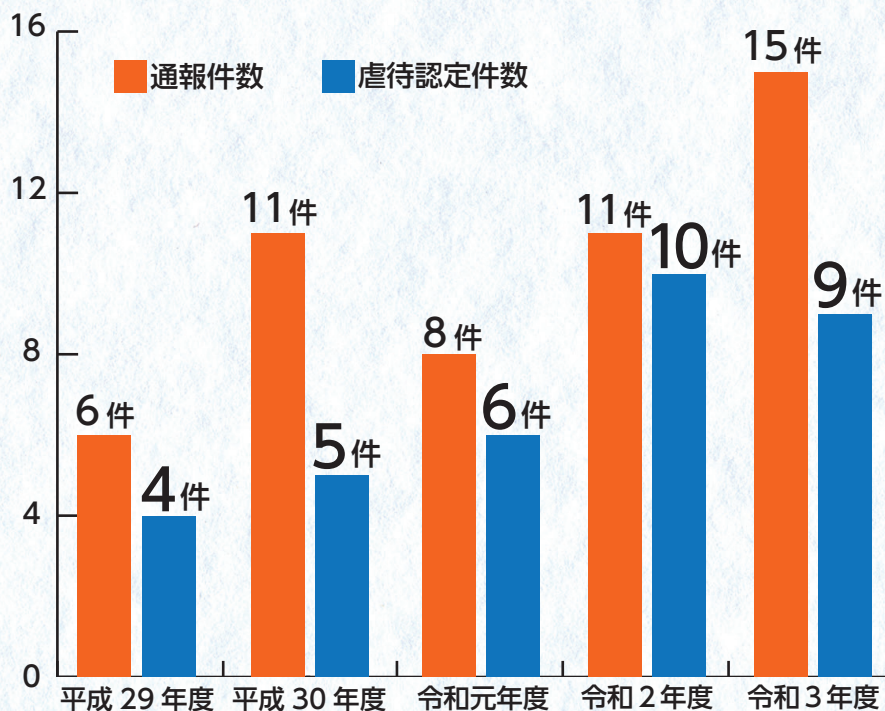


高齢者

- ・ 認知症により、上手く意思を伝えられない
- ・ 思うように身体を動かせず、日常生活に介護・介助が必要
- ・ 人格や性格
- ・ 病気や障がい など



岩倉市の状況



虐待認定件数は、平成 29 年度 4 件でしたが、令和 2 年度では、10 件に増加し、令和 3 年度も 9 件となっています。

しかし、この件数は、通報を受けて調査した結果、虐待だと認められたものであり、実際にはもっと多いと考えられます。

岩倉市で発生している高齢者虐待の多くは、高齢者本人が認知症を患っています。しかし、認知症だけが原因ではなく、経済的な理由や介護疲れなど、さまざまなことが複合的に重なり、虐待につながっています。

高齢者虐待を防ぐために・・・

地域で支え合いましょう!!



「怒鳴り声や大きな物音が聞こえる」「天気が悪くても長時間外にいる」「居住する家が極端に非衛生的である」など地域で気になる人がお見えでしたら、お気軽に、長寿介護課や岩倉市地域包括支援センター、岩倉東部地域包括支援センターにご連絡ください。

皆さんの声掛けなどで、高齢者虐待の早期発見や深刻化を防ぐことができます。高齢者や介護する人を温かく見守り、地域からの孤立を防ぎましょう。

「虐待かな？」と思ったら、一人で悩まず、まずはご相談ください

相談が入ると・・・

虐待の状況や本人の意思を確認し、長寿介護課や地域包括支援センターの職員、ケアマネジャーが連携し必要な支援を行います。

岩倉市地域包括支援センター



【担当地区】
岩倉中学校区

【所在地】
西市町無量寺 2 番地 1
(ふれあいセンター 2 階)

【連絡先】
☎ 38-0303

岩倉東部地域包括支援センター



【担当地区】
南部中学校区

【所在地】
東新町南江向 24-5
(地域交流センター
ポプラの家内)

【連絡先】
☎ 96-6553

— INTERVIEW —

高齢者の皆さんの心身の健康保持や生活安定のために必要な援助を行うための総合相談、権利擁護などを行う地域包括ケアの拠点「地域包括支援センター」。

そんな高齢者に関する相談窓口である地域包括支援センター職員の高齢者虐待についてお話を聞いてきました。

— 岩倉市の高齢者虐待の現状について教えてください —

市内で発生している高齢者虐待は、同居している家族からの身体的虐待、介護や世話の放棄（ネグレクト）が多いです。また、本人にお金を一切使わせないようにしたり、年金を取り上げてしまうなどの経済的虐待も起きています。

虐待の認定件数自体は、多い年でも10件程度ですが、毎年起きています。尾張北部地域の近隣市町を比べても大きな差はありませんが、表面化していないものもあり、実際にはもっと多いと考えています。そういったものをどのように認知しているのが課題ですね。

— 高齢者虐待が起きてしまう要因はどのようなものがありますか —

高齢者本人が認知症を患っているケースが多く、家族の介護疲れや認知症への理解不足により、イラっとしてしまいつい手が出てしまうこと

があります。また、もともとの家族関係も影響する場合があると思います。一人ひとりにその歳まで生きてきた歴史があり、その中で家族との関係性など複雑な要因が絡まっています。

介護する家族にとっては、毎日のことなので当然、精神的に疲れてしまします。そのため、介護が大変だという相談を受けた際には、少しでも家族の介護疲れやストレスを軽減できるようにするためにもデイサービスや短期宿泊サービスなどの介護サービスを提供することが多いです。また、市を中心に認知症に対する理解を広めていくために講座や講演会を行っています。



どんな相談にも真摯に対応

— 高齢者虐待が起こる要因となる家族の介護疲れや認知症などは誰にでも起こりうると思いますが、どうでしょうか —

当事者にならないと自分事に思えないかもしれませんが、認知症は誰にでも起こりうることであり、高齢になると介護が必要になることもあるため、虐待は誰にでも起こりうることだと思います。関係ないと思わず、自分事でもあるという認識を持つてもらえると良いと思います。

始めは、注意のつもりで軽く叩いていたが、それが気づかないうちにだんだんエスカレートしてしまい、相手にケガを負わせてしまった、相手が怯えるほどの声で怒鳴ってしまったなど虐待になっていくことがあります。また、認知症が進むと困った行動をしてしまう人もいますので、余計にきつく当たってしまうことがあるんだと思います。

— もし、虐待と疑わしいところを見かけたらどうするとういでしょうか —

虐待かどうかよく分からないけど、「虐待かもしれない」と思ったら、迷わずに連絡してください。違っていても構いません。それを虐待かどうか判断するのは地域包括支援センターや市が行います。連絡をいただいたことで、早期発見や早期解決につながります。

— 最後に悩んでいる人やその家族に伝えたいことはありますか —

何か困っていることがあれば、私たちと一緒に考えますので、相談してください。実際にすぐに解決することは難しいかもしれませんが、相談したから介護をしなくてもよくなることはありますが、介護サービスを使って少し楽になることもあります。実際に、自宅でずっと一生懸命に介護をしていた人から相談を受けた際に介護サービスを介して、「もっと早くに知っていたか」と言われたこともありましたが、制度やサービスを知らなかったことにより苦労するということもありますので、まずは一人で悩まずに相談してください。



岩倉市地域包括支援センター長補佐
主任介護支援専門員

森 秀和 さん